

サポートブック なら



ふりがな

名 前

ニックネーム

このサポートブックには、私の個性や特徴、関わる時のヒントが書いてあります。私が困っている時や混乱している時に参考にしてください。

(やまおこ)



プロフィール



ふりがな	かしまる こだい	顔写真	
名 前	檀〇 古代		
生年月日	平成〇〇年△△月××日		
性別	男・女	血液型	
身長	165 cm	体重	70 kg
所属(学校など)	奈良県立〇〇小学校 〇年〇組		
診断名(障がい名)	〇〇症(〇〇麻痺)		
手帳	<input type="checkbox"/> 療育手帳 (A ・ B) <input type="checkbox"/> 精神保健福祉手帳 ()級 <input type="checkbox"/> 身体障害者福祉手帳 (種 級) <input type="checkbox"/> 手帳なし		
住 所	奈良県〇〇市〇〇町〇〇-〇 〇〇マンション〇〇号		
T E L	(0744) 〇〇-△△△△		
本人との 連絡方法	【携帯】 090-〇〇〇〇-△△△△		
	【メール】 〇〇@□□△△.ne.jp		

①



今日(月 日)の様子



体温	36.5℃ (平熱は36.0℃です。))
睡眠	十分・不十分(8時間程寝ました。))
食事	食べた・食べていない(7時頃。))
排便	有・無(いつも1日1回です。))

配慮する点(特に気をつけてほしいこと)

- 今朝から少し鼻水が出ていますので、たまに拭くようにしてください。
- 昨夜、食べ過ぎたみたいでお腹をこわしました。今朝の便も少し柔らかめでしたので食事前後にトイレの声かけをしてください。

その他

- 母(花子)は、午前中自宅に居ますが、午後は外出します。午後からの連絡は携帯電話にお願いします。

②-()

(やまおこ)



連絡先(保護者など)



優先順位① かしまる はなこ
 名 前: 檀〇 花子 (母)
 【自宅】(0744)〇〇-△△△△
 【携帯】090-〇〇〇〇-△△△△
 【携帯メール】〇〇@□□△△.ne.jp
 住 所: 奈良県〇〇市〇〇町〇〇-〇

優先順位② かしまる たろう
 名 前: 檀〇 太郎 (父)
 【自宅】(0744)〇〇-△△△△
 【携帯】090-〇〇〇〇-△△△△
 住 所: 奈良県〇〇市〇〇町〇〇-〇

優先順位③ まるぼら はなこ
 名 前: 〇原 花子 (友人)
 【自宅】(0744)〇〇-△△△△
 【携帯】090-〇〇〇〇-△△△△
 住 所: 奈良県〇〇市〇〇町〇〇-〇

③-()

 緊急連絡先(医療機関など) 

病院名：〇〇病院
 科：小児科
 主治医：〇〇先生
 (0744)〇〇-△△△△
 所在地：奈良県〇〇市〇〇町〇〇-〇

 連絡先(学校・園・施設など) 

名称：奈良県立〇〇小学校
 学年・組：〇年 〇組
 担任名：〇〇先生
 (0744)〇〇-△△△△
 所在地：奈良県〇〇市〇〇町〇〇-〇

 行政関係 

市町村役場 〇〇市役所 〇〇福祉課
 担当者 ① Aさん ② Bさん ③ Cさん
 (0744)〇〇-△△△△
 所在地：奈良県〇〇市〇〇町〇〇-〇

④ - ()

 私の特徴・自己紹介・診断名について 

私は〇〇症です。
 ※診断名がない場合はそのことを記入。

この障がいの特徴は、①対人関係の発達の偏り
 ②コミュニケーション能力の偏り(特に言語能力)
 ③反復的な行動や強いこだわりを伴う想像力の発達の偏りです。

これらは脳の中樞神経の障がいで、育て方や家庭環境が原因ではありません。

【具体的には次のような特徴が見られます】

変化を嫌う・対人のルールの理解が難しい・表情や身振りが乏しい・興味が限られている・あいまいなことが理解できない・何が重要なことが気づくことができず、時には重要でないことに集中することがある。

※特に対人的なことを書いておくと、初めて接する人が本人に接しやすくなります。

⑤ - ()

 健康 

【身体上の留意点】

- 歩行が不安定で、段差などがあるところでは介助が必要です。
- 近視のためメガネが必要です。
- 体力はあまりないほうです。1～2時間は立って活動ができますが長時間は辛いです。
- 寒さよりも暑さに弱いです。

【健康状態(発作・アレルギー など)】

- てんかん発作があります(投薬あり P⑩を参照)。
- 花粉症です。
- 食べ物のアレルギーもあります(P⑩を参照)。

【その他】

- 長距離の外出には車椅子を使う場合があります。

⑥ - ()

 服薬 

	時間	種類
朝	AM8:00	フェノバル・2錠
昼	PM1:00	テグレートール・1袋
夜	PM6:00	エクセグラン・3錠

薬の管理

- 自分で管理することは難しいので支援者の方が管理してください。

薬の飲み方

- 薬の袋を開ける(錠剤を出す)まで手伝わすと、あとは自分で飲めます。

その他

※飲み忘れた時の対応、投薬の間隔(～時間はあける)など記入しておきましょう。

⑦ - ()



余暇・遊び・好きなこと



【室内】

- 動物の絵本を読んでもらうこと
- 戦隊のビデオを見ること
- テレビゲームをすること
- 電車を並べること
- 人形の髪を梳くこと

【屋外】

- 砂場遊び
- 花や葉っぱを摘むこと
- フランコに乗って大人に押ししてもらうこと
- 電車を見に行くこと
- ボールを坂で転がすこと

【注意点・配慮点】

- 同世代の子どもとひとりではうまく聞われないので大人がそばについています。
- 遊びの終了3分前に『〇〇ちゃん、あと3分でおしまい』と伝えると、遊びを終えやすいです。

⑧ - ()

(やまおひ)

ト イ レ



【小】 配慮点



- 行きたいときは自分から『おしっこ』と言います。
- ファスナーを下げる練習をしています。
- 便器の前で『ファスナーを下ろしてね』と声をかけるとうまくいきます。

【大】 配慮点



- 和式トイレでは大便ができません。
- 洋式トイレで、自分でパンツを下ろして便座に座ることができます。
- 自分でペーパーを適量取って1回拭くことはできます。
- 便がやわらかい時は、大人が拭くのを手伝っています。

【このほかにも】

- ※和式・洋式、両方使えるのか。
- ※男子では小の時／大の時、どちらを使うのか。
- ※女子では生理の始末など。

⑨ - ()



食 事 ・ お や つ



食べてはいけないもの(アレルギーなど)

蕎麦 ・ 生卵 ・ 蟹 ・ 海老

すきなもの

ハンバーグ・焼肉
たこ焼き

きれいなもの

ピーマン ・ にんじん

配慮すること

- はし・スプーン・フォークを使って一人で食べることができます。
- コップを持って水を飲むことができます。
- 食事を自分で作ることができます。
- 食事の手伝いをすることができます。

- 自分で量を制限できないので渡す前に『〇個でおしまい』と約束しています。
- 飲み物は1回200cc程度の缶またはパックのジュースをお願いします。
- 自分が食べ終わった後、周りを待つことが苦手です。

※食後の投薬 (あり) なし)

⑩ - ()

(やまおひ)



外 出 ・ 移 動



徒 歩 (配慮していること)

- 手をつないで歩いてください。 一人で安全に歩けます。
- 飛び出すことがあります。 信号は理解できません。
- 行き先を写真などで見せてから移動しています。
- エレベーターでは、ボタンを全て押そうとするので、手をつないでなるべくボタンから離れた位置に立つようになっています。

車・タクシー (配慮していること)

- 座る位置が決まっています。 シートベルトはできません。
- パワーウィンドウのスイッチを触りたがるのでロックするか中央に座らせてください。

電 車 ・ バ ス (配慮していること)

- 切符は買えません。 車内に好きな場所があります。
- 車内で大きな声を出すことがあります。 必ず座りたいです。
- 窓側だと景色を見て静かに過ごすことができます。

そ の 他 (配慮していること)

- ※エスカレーター、自転車、車椅子などの場合の注意点や雨天時の注意点も記入しましょう。
- ※気になるものはないか、どんな交通手段を利用することが多いか、危険な行動はないか、書いておきましょう。

⑪ - ()



コミュニケーション ①



【 相手 → 本人 】

※指示・許可・禁止、ルールの理解について書きます

- 話かけるとき、注意をひくときは「こだいちゃん！」とはっきりした声で名前を呼んでから、指示をしています。
- 【 具体的な指示の例 】
 - × 「ボールをかたづけね」
 - 「ボールを集めてカゴに入れてね」
 - × 「もうちょっとで遊びはおしまいだよ」
 - 「時計の長い針が3のところにきたら、おかたづけします」
- ひらがな、カタカナは読めますが、文章全体の意味を理解するのは苦手です。単語と動詞でわかりやすく伝えています。
 - × 「今日は晴れだからお外が良い？」
 - 「ボールで遊ぶ？トランプする？」
- してはいけないことは、はっきり「ダメ！」と言って、手で「×」を示すとわかりやすいです。

⑫ - ()

(やまおり)



コミュニケーション ②



【 本人 → 相手 】

※要求・選択・拒否の時、それぞれどんな様子を具体的に書いておくとお互いやりやすくなります。

- 2～3語文程度(例「先生、トイレ行く」)の要求や、拒否(例「いや、しない」)ができます。
- 選択をさせるときは、言葉だけで言うよりも絵に書いて「どっち？」と聞くと本人に伝わりやすいです。
- 欲しいものの名前がわからないときは、大人の手をとって、指し示そうとしたり、連れて行こうとしたりします。
- 好きな話題は「ウルトラマン」「電車」です。会話として続きませんが本人の興味をひくことができます。

※コミュニケーションの手段は、言語・サイン・クレヨン・絵カード・写真・機器を使うなど、何を用いているのかを具体例を交えて記入しておくとうわかりやすくなります。

⑬ - ()



こだわりやパニック



【きっかけ】

- ① 掃除機の音、工事現場、強い光、炎
- ② 今、熱中していることを止められる

【様子】

- ① 耳をふさいで「アー」と大きな声を出しながら走って逃げようとする。
- ② 床に寝転んでのけぞり、声をあげて泣く。

【対応】

- ① 手をつないで「大丈夫」と声をかけしながら、手をつないで静かな場所へ連れて行きます。事前に「○○の音がするよ」と予告しておくとう大丈夫になってきました。
- ② 5分くらいで泣き止みます。無理に起こそうとせず、落ち着いてから好みの活動に誘っています。

※「予防」のためにどうすればよいか、「おこってしまったとき」はどうすればよいかを具体的に書きましょう。

※1枚で足りない場合は、この用紙を足していきましょう。

⑭ - ()

(やまおり)



着 替 え



着 る (配慮していること)

- 上着は前を下向きに、ズボンは前を上向きに並べると自分で着ることができます。
- 靴下は自分ではきませんが、かかとが上にきていたら回すのを手伝っています。
- 靴も左右が反対になることがあるので、その時は声かけをしています。

脱 ぐ (配慮していること)

- 脱いだ服と新しい服がわからなくなることがあるので、分けて置くように声かけが必要ですよ。

プール・シャワー・入浴 (配慮していること)

- シャワーはひとりで操作できないので、大人が操作してやってください。
- シャンプー、リンスはたくさん出してしまうので、大人が適量を取って手にのせてやってください。

⑮ - ()



就寝・起床・洗面・歯磨き



就 寝	〔配慮していること〕
<ul style="list-style-type: none"> • 布団にもぐって寝ることが好きです。寝る前にトイレに連れて行けば、途中で起きずに朝まで眠ることができます。 • 夜中に目を覚ました時はトイレに誘ってください。ぐずったときは添い寝で少し背中をさすってあげると落ち着きます。 	
起 床	〔配慮していること〕
<ul style="list-style-type: none"> • いつも朝7時に起こしています。起こすまで寝ていると思うので、身体を軽く揺すって『起きるよ』と声をかけています。 • 早朝にひとりで目が覚めた場合は、体調が良くないときが多いので、可能であれば体温を測ってみてください。 	
洗面・歯磨き	〔配慮していること〕
<ul style="list-style-type: none"> • 歯磨き粉はたくさん出してしまうので適量を歯ブラシにのせてください。 • 顔を濡らすことは苦手なので、濡れたタオルで拭いています。濡れタオルを渡すと自分でできます。 	

(やまおり)

m e m o

【作成にあたって】

- サポートブックには大切な個人情報が載っています。作成の最終チェック・管理は保護者が行いましょう。
 - サポートブックは、初めて子どもと接する人に対して、子どものことを知ってもらい、安全に楽しく過ごしてもらうための支援ツールです。持って行く場所や状況に応じて、内容や量を調節しましょう。
 - 子どもの成長に合わせて内容は随時書き直していきましょう。作ったものを残すことで、子どもの成長の過程がわかります。
 - 書かれてある内容が、子どもにとってわかりやすい表現で書かれてあるか、子どもがいやな思いをすることのない内容であるか、チェックしておくことも大切です。
- ※このサポートブックは、ひょうご発達障害者支援センター「クローバー」作成のサポートブック等を参考に作成いたしました。
- ※このサポートブックの商用への転用はご遠慮下さい。